

学 年

5 年

## 単位量あたりの大きさ (1) ①

年 組 名 前

- 1 (1) 1ダース720円のAのえんぴつと、9本で630円のBのえんぴつがあります。  
1本あたりの値段は、どちらが高いでしょう。

(式)

(答え)

- (2) 300グラムで1200円の牛肉と、500グラムで1500円のぶた肉があります。

100グラムあたりの値段は、どちらがいくら、高いでしょう。

(式)

100グラムあたりの値段  
のことを、「グラムあたり」  
ということがあります。

(答え)

学 年

5 年

## 単分量あたりの大きさ (1) ①

1 (1) 1ダース720円のAのえんぴつと、9本で630円のBのえんぴつがあります。

1ダース  
は、12本。

1本あたりの値段は、どちらが高いでしょう。

$$(式) Aのえんぴつ \quad 720 \div 12 = 60$$

つまり、1本あたりの値段は、60円

$$Bのえんぴつ \quad 630 \div 9 = 70$$

1本あたりの値段は、70円

(答え) 1本あたり70円のBのえんぴつのほうが高い。

(2) 300グラムで1200円の牛肉と、500グラムで1500円のぶた肉があります。

100グラムあたりの値段は、どちらがいくら、高いでしょう。

(式) 300グラムの牛肉の100グラムあたり…ということは、

$$1200 \div 3 = 400$$

牛肉100グラムあたりの値段は、400円

500グラムのぶた肉の100グラムあたり…ということは、

$$1500 \div 5 = 300$$

ぶた肉100グラムあたりの値段は、300円

(答え) 牛肉のほうが、100グラムあたり、100円高い。

学 年

5 年

## 単位量あたりの大きさ (1) ②

年 組 名前

- ① 単位量あたりで求めるときは 2 通りの方法がありました。下の表のように長さや代金がちがう A, B のリボンでは、どちらが得かを調べましょう。

	長さ	代金
リボン A	5 m	20 円
リボン B	8 m	40 円

- ① リボン 1 m あたりの代金を比べて、どちらが得かを調べましょう。

(式) リボン A…

リボン B…

(答え)

- ② 代金 1 円あたりの長さを比べて、どちらが得かを調べましょう。

(式) リボン A…

リボン B…

(答え)

学 年

5 年

## 単位量あたりの大きさ (1) ②

- 1 単位量あたりで求めるときは 2通りの方法がありました。下の表のように長さや代金がちがうABのリボンでは、どちらが得かを調べましょう。

	長さ	代金
リボンA	5 m	20 円
リボンB	8 m	40 円

- ① リボン1 mあたりの代金を比べて、どちらが得かを調べましょう。

(式) リボンA…  $20 \div 5 = 4$  … 1 mあたり 4 円

リボンB…  $40 \div 8 = 5$  … 1 mあたり 5 円

1 mあたりの値段が、安いほうが、お得ですね。

(答え) Aの方が得

1 円あたりで、長く買えるほうがお得ですね。

- ② 代金1 円あたりの長さを比べて、どちらが得かを調べましょう。

(式) リボンA…  $5 \div 20 = 0.25$  … 1 円あたり、0.25 m

リボンB…  $8 \div 40 = 0.2$  … 1 円あたり、0.2 m

(答え) Aのほうが得。

同じ問題でも、1 mあたりを求める式と、1 円あたりを求める式は、わる数とわられる数の数値がひっくり返っていますね。